

令和3年6月2日

千曲市長 小川修一様

千曲市議会議長 和田英幸

新型コロナウイルスワクチン接種に関する提言について

新型コロナウイルスワクチン接種については全国で予約、接種が始まり、千曲市においても5月より電話予約と接種が始まりました。

早期接種実現のため、スピーディーな対応が求められる中で、休日返上でワクチン対応されている担当職員や関係者のご労苦に対し、敬意を表する次第であります。

重症化を回避するために有効なワクチン接種は、高齢者や基礎疾患を患う方にとっては命を守る手段であるため、先を争う形での予約となり、予約電話が連日つながらず、市民から不満の声が多くあったことはご承知のとおりであります。一時的な混乱はあったものの希望者の殆どの予約が済み、順調に接種が進んでいることに感謝申し上げます。

しかしながら、引き続き64歳以下の市民の接種予約をされていくこととなり、現役で仕事をされている年代であるため、予約方法や接種日などに配慮も必要になることと思います。

つきましては、これまで各議員に市民から寄せられた意見や個々の議員の調査などによる提案等を別紙のとおり取り纏め、議会としての提言として提出いたしますので、参考にしていただき、業務の円滑な執行のためにご検討されるようお願いいたします。

また、市民の不安を払拭するため、今回の提言とその対応、最新の情報などについて、市報やホームページなどで発信するようご配慮のほどをお願いいたします。

別紙 新型コロナウイルスワクチン接種に関する意見、提案等

1. 65歳以上への予約、接種対応に対する意見 (委員会における担当課からの回答を一部記入)

- ・土日にも接種の電話予約ができるように対応を 委託で難しければ他部署の職員の動員やボランティア募集などは

回答：65歳以上への対応は難しい

- ・予約電話回線の増設を

回答：5/20から11回線を18回線に増設

- ・インターネットでの予約も可能に LINEの予約の検討を

回答：64歳以下ではネット予約を可能にする

- ・独居老人や移動困難者への対応は 民生児童委員や区長さんと連携し、タクシー券の利用などを

- ・高齢者の接種希望者も90%超となることを見込んで、医療従事者の理解と協力を得て、1日の接種回数が増えるよう調整に努力を

例：ふれあい福祉センターの会場増設、旧更埴庁舎の利用、歯科医師会の協力

- ・高齢者や体の不自由な方への待ち時間の配慮

2. 正しい情報発信をすべきと考える事項

- ・ナビダイヤルの周知と注意喚起

例：ナビダイヤルで有料との案内がされたときにはつながっていること

ナビダイヤルはかけ放題の対象外であること

- ・地域をバスが巡回して接種する会場は、車いすの方のみとの誤解がある

- ・アナフィラキシーショック等の副反応などワクチンの安全性についてタイムリーで丁寧な情報発信を

例：接種会場での情報配布、帰宅後の体調異変時の問い合わせ先の記載

- ・2回目の副反応がかなりの確率で発生、若い人に副反応が出やすいとの情報の真偽

- ・7月中に完了予定だった65歳以上の接種は8月中となる見込みであること

- ・希望者のワクチンは確保されること

3. 今後のワクチン接種予約等の対応への提案、要望等

- ・年代ごとに対象者数を絞った形で順次予約するようには
- ・一度電話がつながることで安心してもらえるよう、一旦電話を受け、コールセンターから電話を折り返す方式の検討を
- ・他市の予約方法などを参考に

上越市、小諸市：市で日時を指定して通知し、変更したい人だけが電話連絡する
岡谷市：都合の良い日をはがきで返信してもらい市が調整

塩尻市：基礎疾患の有無を往復はがきで確認し、基礎疾患のある人から優先接種
その他参考市町村：福島県相馬市、南相馬市、沖縄県中城村、栃木県塩谷町

- ・電話とネット、LINEでの予約の併用
- ・ナビダイヤルの「0570」ではなく、通常電話の「026」や無料の「0120」としては
- ・本人確認をクーポン券番号で行い、時間短縮を
- ・当初決めた予約方法を状況に応じて臨機応変に改善するような対応を
- ・高齢者や基礎疾患を有する者への優先接種のための先行予約期間の設定
- ・基礎疾患や障がい者への支援（民生委員やケアマネ等で予約補助や接種時の介助等）と接種券や説明書の文字の拡大
- ・手話通訳や筆談ボードなど障がい者への対応

視覚・聴覚障害、発語障害、精神疾患などがある接種希望者は会場をふれあい福祉センターに固定して対応されては

- ・市内に住民票のない人も老人福祉施設や企業で接種できるよう関係機関と調整を
- ・かかりつけ医での接種
- ・キャンセルへの対応、廃棄しない仕組みづくり
- ・接種後の経過観察待機時間を利用して、接種後に注意喚起動画で周知を（長野県で作成した注意喚起動画を活用）
- ・9月に留学する学生、生徒への配慮
- ・予約代行への謝礼や詐欺への対策
- ・県のホームページのように、市のワクチン接種に関するホームページからわかりやすい資料が掲載されているページへのリンクを増やす
- ・子どもと接する保育士、教員への優先接種
- ・接種を急がせ、担当部署に重圧をかけないように
- ・ワクチン接種の自治体での方法について、公平性や不公平感、回線の集中の課題などの問題を検討している機関があり、東京大学マーケットデザインセンターでは電話やメールで自治体からの相談を受け付けている
- ・部局横断的に若手中心のプロジェクトチームをつくり、ワクチン接種の方法についてアイデアを出す組織体制の検討